

2021年度予算のお知らせ

2021年2月17日に開催の組合会で2021年度予算および事業計画が承認されましたので、概要をお知らせします。

健康保険

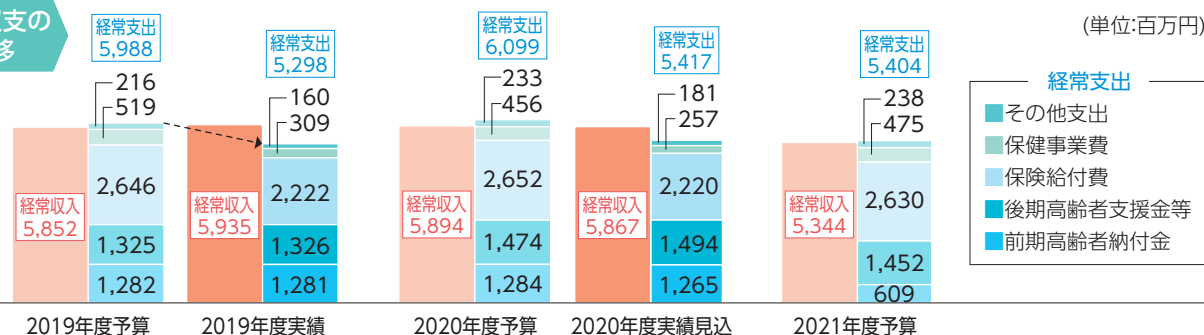
- 健康保険の保険料率は、前年度から変更はありません。
- 被保険者数は、2015年度から2020年度まで減少し続けており、さらに2021年度も減少傾向。
- 高齢者医療制度への納付金は、保険料収入の38%を国へ拠出(今年度は前期高齢者納付金が給付額の見込差による過年度精算により減少となったことが大きく影響し、前年度からは10%減少)。
- 加入者のセーフティネットである保険給付費は、パンデミックや高額薬剤の使用に備え保険料収入の49%を計上。
- 保健事業費は、加入者の健康の保持増進に寄与するため、健康経営への対応費用も含め保険料収入の9%を計上。

被保険者1人当たり金額

単位:円

	2020年度 予算	2021年度 予算	増減額	保険料 収入比(%)
保険給付費(医療費・出産関係費用等)	363,735	402,135	38,400	49.4
納付金(高齢者医療制度への拠出金)	378,353	315,087	▲63,266	38.7
前期高齢者納付金	176,176	93,141	▲83,035	11.5
後期高齢者支援金	202,169	221,937	19,768	27.3
退職者給付拠出金等	8	9	1	0.0
保健事業費(総合健診・インフルエンザ費用補助等)	62,489	72,639	10,150	8.9
その他支出	31,980	36,454	4,474	2.0
経常支出合計	836,557	826,315	▲10,242	
健康保険料収入	803,747	813,338	9,591	
健康保険料収入-経常支出合計	▲32,810	▲12,977		
法定準備金(百万円)	1,907	1,902	▲5	
別途積立金(百万円)	4,624	5,528	904	
平均被保険者数(名)	7,290	6,540	▲750	
保険料率(%)	8.384	8.384	0	

経常収支の 推移



注) 健康保険組合の支出予算は、国の指導により予算を超える支払等ができないため、ある程度余裕をもった予算を計上しています。

介護保険

健保組合は、40歳から64歳の被保険者から介護保険料を徴収し、介護納付金として国に納める徴収事務のみを行っています。

介護保険制度の費用は、2000年4月に制度が創設されて以来、毎年増加しています。スタート時は3.6兆円でしたが、2018年度には初めて10兆円を超え、2019年度以降も増え続けていると思われます(健保組合は全体の27%を負担)。

2021年度も介護保険制度の費用の増加の影響で介護納付金の1人当たりの負担が昨年度よりもさらに増えるため、みなさんから徴収する保険料も引き上げが必要となります。

- 介護納付金は、1人当たり4.5千円の負担増
- 介護保険の保険料率は、前年度比0.12ポイント増の1.74%となる

保険料徴収対象者1人当たり金額

単位:円

	科目	2020年度実績見込	2021年度予算	増減
収入	介護保険収入	186,219	200,653	14,434
	その他収入	15,997	10,493	▲5,504
	収入合計	202,216	211,146	8,930
支出	介護納付金	196,211	200,695	4,484
	その他支出	6,005	10,451	4,344
	支出合計	202,216	211,146	8,930
	保険料率(%)	1.62	1.74	0.12
	保険料徴収対象者(名)	3,930	3,540	▲390